

(別紙)

令和 8 年 9 月定例会議 一般質問

6 番議員 前田 せつよ

高齢者福祉・介護福祉の施策を問う

本町の高齢化率は令和 7 年 1 月 1 日現在 26.8%であり、今後も高齢化の進展が見込まれる。今年度が最終年度である開成町第 9 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の状況を踏まえた次期計画の策定が大変に重要である。

一人暮らしの高齢者・高齢者のみの世帯の増加や孤立化、認知症高齢者の増加、介護する家族の負担増など様々な課題への対応が求められている。

本事業計画の基本指針には「地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び介護現場の生産性向上」をポイントに掲げている。県内では福祉に関わる人手不足が深刻化する中、自治体が民間サービスを活用し、介護などの福祉事業所等と有償ボランティアをインターネット上で繋ぐマッチングサービス「スケッター」が注目されている。スケッター事業は、人材確保に留まらず関係人口の増加にも繋がるため有効な施策と考える。

高齢者福祉支援・介護福祉支援の向上を図るため次の項目を問う。

- 1 第 9 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の評価は。
- 2 地域包括ケアシステムの具体的施策の現状は。
- 3 スケッター事業の導入について見解は。
- 4 第 10 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の方向性は。